安全上のご注意

1. このページに記載される安全上のご注意をよくお読みください。
2. ユーザーズマニュアルは今後のために大切に保管してください。
3. 掃除をする前に、この装置をAC電源から取り外してください。
   掃除をする際は、液体やスプレー洗剤をご使用にならないでください。
   湿った布などで掃除してください。
4. 装置はコンセントの近くに起き、コンセントに届きやすいよう設置してください。
5. 装置は湿気のある場所に置かないでください。
6. 装置を安定した場所に置いてください。装置を不安定な場所に置くと、落ちたり、破損の原因になることがあります。
7. 装置についている穴は通気孔です。装置の加熱を防ぐためのものです。これらの穴は絶対にふさがないでください。
8. 電源に接続するときは、電圧をお確かめの上、接続してください。
9. 電源コードは通行などの邪魔にならないよう配置してください。電源コードの上には何も置かないでください。
10. 装置に関するすべての注意事項および警告事項をよく守ってください。
11. 装置を長期間ご使用にならない場合は、変圧器の破損を防ぐため、コンセントから外しておいてください。
12. 火災や感電の恐れがありますので、穴などに液体を注ぎ込まないでください。
13. 装置の解体は絶対におやめください。安全上の配慮から、装置の解体は専門技師にのみ許可されています。
14. 次のような状況が発生した場合は、すぐに専門技師にお問い合わせください:
    (a) 電気コードやプラグが破損した場合。
    (b) 装置に液体がこぼれた場合。
    (c) 装置が湿気のある場所に置かれた場合。
    (d) 装置がうまく作動しない場合や、ユーザーズマニュアル通りに操作しない場合。
    (e) 装置を落としたり、破損した場合。
    (f) 装置に明らかな破損の傾向がある場合。
15. この装置は、エアコンのない密封環境に放置しないでください。60℃ (140℉)以上の場所に保管すると、装置を破損する恐れがあります。また、IEC704-1:1982 に基づく装置の音量圧力レベルは、70dB(A)(を含む)以下です。
16. 危険: この装置を開くと、目に見えない放射能が発生しますので、直接触れないでください。
    FDA放射線標準、21 CFR第J項を満たしています。
    レーザーパワー:ウェーブ長さ:783±3mm(CD); 658±3nm (DVD)
    放出能力: :0.7mW
    レーザーダイオード:class 3b

ご注意

!! ドライブを自ら解体しないでください。カバーを取り外すと、危険性のあるレーザー光線や電圧に触れる恐れがあります。欠陥のあるドライブは、お買い上げ店に返品し、専門技師に修理を依頼することを強くお勧めします。

- ドライブの郵送や返品には、本来の梱包をお使いください。この商品の梱包は、ドライブが運送条件に耐えるよう設計され、テストされています。
- ディスクは清潔に保ちましょう。レコーディング前に柔らかい、きれいな布でディスクの表面をふき取ることにより、データの完全性が高まります。
- 各国の著作権法が各著作の再製などを管理しています。ご利用になる際は、無許可で著作を再製することが違法となることもありますのでご注意ください。
- HDDからデータをコピーする方が、"オン・ザ・フライコピーモード"でコピーを実行するよりも成功率が高くなっています。よって、イメージファイルの作成に十分なバッファスペース(CD の場合は少なくとも 650MB、DVD の場合は 5GB; お使いのドライブが Double Layer DVD+R または Dual Layer DVD-Rへの書き込みに対応している場合、最低 9GB の容量が必要です。

目次

はじめに

本BD(ブルーレイディスク)コンボドライブは、BD、DVDおよびCDの書き込み・再書き込み・読み込みで、プロ品質並みのパフォーマンスを実現します。本機は、ランニングOPC（ROPC）を採用し、Windowsプラグ&プレイに対応。さらにバッファアンダーランエラーを解消するバッファアンダーラン技術の搭載により、DVDやCDへの書き込み中でも、安全にコンピュータで他の作業を行うことができ、WEBに接続すれば、ドライブを開けることなく、ドライブのフラッシュメモリーを最新のファームウェアリビジョンにアップデートできます。

BDコンボドライブでできること

- 記録可能または再書き込み可能DVD / CDへのデータ記録。
- 記録可能または再書き込み可能DVD / CDへの写真他イメージの保存。
- BD-R / BD-RE / DVD+RW / DVD-R / DVD-RWディスクへのデジタルビデオやスライドショーの記録。
- DVD / CDへのイメージやビデオのアーカイブ。
- BD-ROM / BD-R (BD 記録可能) / BD-RE (BD 再書き込み可能) / DVD-ROM / DVD+R / DVD+RW / DVD-R / DVD-RWディスクの再生。
- 音楽CDの再生。
- VCD / DVD / BDムービーの再生。
- DVD / BDに保存されている対話型参考資料へのアクセス。

BDの場合:
- BD-ROM / BD-R SL / BD-RE SL メディアの読み込み

DVDの場合:
- DVD+R / DVD-R (記録可能 DVD)メディアへの書き込み
- DVD+RW / DVD-RW (再書き込み可能 DVD)メディアへの書き込み
- DVD-ROM / DVD+R / DVD-R / DVD+RW / DVD-RW / DVD+R9 / DVD-R9 ディスクの読み込み
- double-layer DVD+R (記録可能 DVD+R9)とdual-layer DVD-R (記録可能 DVD-R9)メディア*への書き込み
- DVD-RAMメディア*の読み込み、または書き込み

CDの場合
- CD-R (記録可能CD)メディアへの書き込み
- 高速 CD-RW (再書き込み可能CD)メディアへの書き込み
- 全てのCD-ROMとCD-Rメディアの読み込み、CD-RWとCD-DA（オーディオ）メディアの読み込み

形式の互換性

BD 読み込み: BD-ROM Version 2.0, BD-R 2.0/3.0/, BD-RE 2.0/3.0, BD hybrid, BD-9

DVD 書き込み: DVD+R Version 1.3, DVD+R9 Version 1.0, DVD-R9 Version 3.0, DVD+RW Version 1.3, DVD-R Version 2.1, および DVD-RW Version 1.2, DVD-RAM Version 2.2

DVD 読み込み: DVD-ROM single/dual layer (PTP, OTP), DVD-R, DVD+R, DVD+R9, DVD-R9, DVD-RW, DVD+RW, DVD-RAM

CD 書き込み: Orange Book Part 2 CD-R Volume 1, Part 2 CD-R Volume 2 Multi Speed, Part 3 CD-RW Volume 1 Low Speed, Part 3 CD-RW Volume 2 High Speed, Part 3 CD-RW Volume 3 Ultra Speed

CD 読み込み: CD-DA, CD-TEXT, CD-ROM Mode-1, CD-ROM/XA Mode-2 Form-1/Form-2, Photo-CD, Multi-session, Karaoke-CD, Video CD, CD-I FMV, Enhance CD, CD Extra, UDF, CD Plus, CD-R, および CD-RW

レコーディングモード

トラックアットワンス

一度に一トラックのデータをディスクに記録することができます。新しいトラックは後に追加できます。音楽CDは、ディスクが完了するまで、CDプレーヤーやCD-ROMでは再生できません。

ディスクアットワンス

一度にデータをディスクに記録することができます。このモードでは、新しいトラックを後に追加することはできません。

セッションアットワン

一度にワンセッションのデータを一枚のディスクに記録することができます。新しいセッションは、このモードの後で書き込まれます。トラック間にギャップがないため、更に多くのディスクスペースを使用することができます。

マルチセッション

ワンセッションのデータを一枚のディスクに記録することができます。新しいセッションは、このモードの後で書き込まれます。トラック間にギャップが生じるため、使用できるディスクスペースは減少します。

パケットライティング

データのバックアップに効果があります。データは、直接 メディア上のトラックに加えられるか、直接 メディア上のトラックからのみ削除できます。このモードを使用する場合、パケットライティング機能をサポートしたソフトが必要となります。

システム構成

システム環境

安定した読み込み/書き込み/書き換えパフォーマンスを保証するために、次の特徴を持つIBM互換性PCシステムが推薦されます。

CPU	Pentium 4 2.0GHz 以上
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 2000 SP4 / Windows XP SP2 / Windows Vista
メモリー	512MB以上 RAM
ハードドライブ	最低 10GBの使用可能容量
インターフェース	使用可能なシリアルATA (SATA) インターフェースコネクタ

高解像度BDムービー再生向け:

CPU	Pentium D 3.0GHz 以上
オペレーティングシステム	Microsoft Windows XP SP2 / Windows Vista
メモリー	10GB 以上 RAM
ハードドライブ	最低 10GB 使用可能容量
デジタル出力用ディスプレイデバイス	● HDCP対応のモニターまたは TV ● 256MB RAM, 16X PCI Express, 1920x1200 解像度, 32bit カラー搭載のHDCP対応グラフィックスカード GPU 環境: MPEG2 高解像度ビデオ用DXVAデコーディングに対応, H.264 高解像度ビデオ用DXVAデコーディングに対応, 2 つのDXVAストリームの同時デコーディングに対応 (これら2つのストリームは形式が異なる場合があります), 3つの高解像度 (1920x1080) ARGB32 テクスチャを 3ms以内でブレンディング COPPによりDVI / HDMI出力用HDCPに対応 **グラフィックカードドライバはHD CP規格に対応している必要があります**

備考:
HDCP: High-bandwidth Digital Content Protection(高帯域デジタル・コンテンツ・プロテクション)
DXVA: Direct X Video Acceleration(ダイレクトXビデオ・アクセラレーション)
DVI: Digital Visual Interface(デジタル・ビデオ・インターフェース)
HDMI: High Definition Multimedia Interface(高解像度マルチメディア・インターフェース)
COPP: Certified Output Protection Protocol(認証済み出力保護プロトコル)

機能と調整

正面図

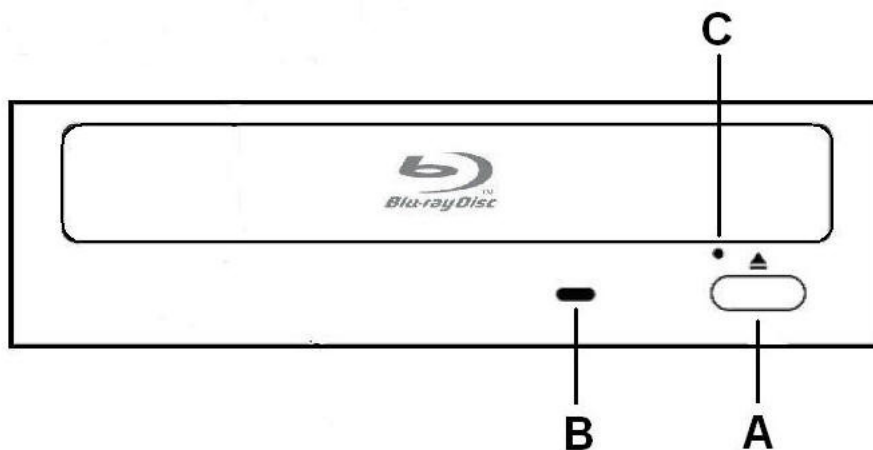



図: BDドライブ正面図の代表例(ご使用のドライブと異なる場合があります)

A	**イジェクト/クローズボタン**	トレイを引き出す/閉じるための押しボタン。
B	**ビジー/書き込みLED**	ドライブの作業状態を示します。LEDの点灯はディスクがロード済みで準備が完了している状態を示し、点滅している場合は、ドライブが読み込み/書き込み/再書き込みの状態、またはディスクがロード中の状態を示します。
C	**エマージェンシィイジェクトホール**	イジェクト・ボタンが機能しない場合、このホールに小さな棒やクリップの先を差し込んでください。トレイを引き出すことができます。 ***注意:この手動でのトレイ引き出を実行する前に、電源をオフにしてください。***

背面図

シリアル ATA ドライブ:

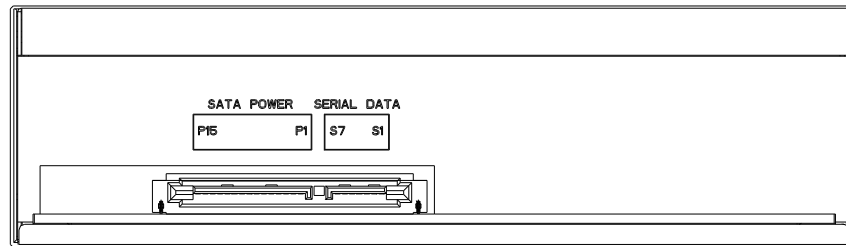



図: シリアル ATA ドライブの背面図

シリアル ATA 電源コネクタ	DC 電源入力用 15 ピンコネクタ
シリアル ATA データコネクタ	シリアル ATA データインターフェース用 7 ピンコネクタ

シリアル ATA ドライブのハードウェアインストール

1. PC の電源を切り、すべての電源コードを取り外します。
2. PC カバーの取り外し方については、PC のユーザーズマニュアルを参照してください。
3. 空のベイを見つけ、ドライブをこのベイにスライドさせ、4 つのネジでドライブを固定します。
4. シリアル ATA データケーブルを、PC のマザーボードまたは PCI カード上にあるプライマリまたはセカンダリシリアル ATA ポートに接続します。
5. シリアル ATA データケーブルのもう片方をドライブに接続します。

   メモ: シリアル ATA データケーブルコネクタのピンの定義は、下図と同様です。

6. (オプション) シリアル ATA 電源アダプタには 4 ピンを使用する必要がある場合があります。これは、PC 電源の電源コネクタにより異なります。もし必要な場合、この 4 ピンを PC 電源からシリアル ATA 電源アダプタに取り付けます。
7. シリアル ATA 電源コネクタをドライブ背面の電源コネクタに接続します。

   メモ: シリアル ATA 電源コネクタはシリアル ATA データケーブルよりも大きいサイズです。シリアル ATA 電源コネクタのピン定義は、下図と同様となります。

8. PC ケースを元に戻し、電源コードを接続します。

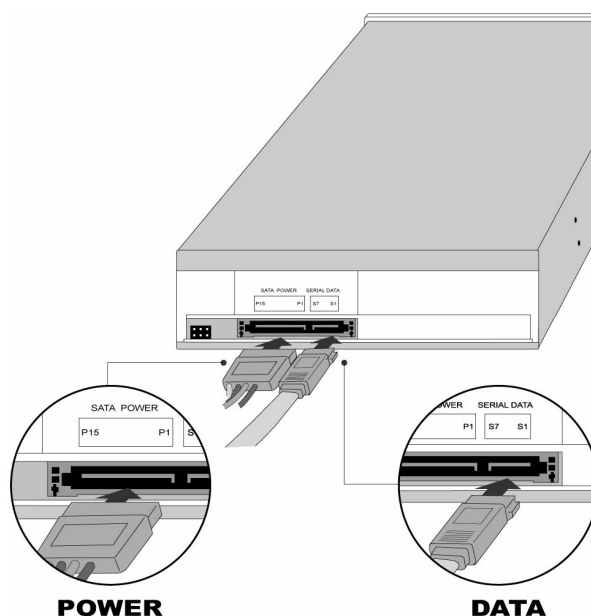



図: シリアル ATA ドライブの背面パネル

操作方法

デバイス・ドライバとソフトウェアのインストール

ご使用のWindowsシステムにはすでにデバイス・ドライバが搭載されておりますので、ドライブをインストールすれば即時にドライブが使用でき、CD-ROMやDVD-ROMからソフトウェアをインストールし、セットアップすることができます。しかし、ディスクへの書き込みや市販のムービー再生といったドライブの全機能を活用するには、追加ソフトのインストールが必要となります。

トレイのロードとアンロード

(1) トレイを引き出すには、BDドライブの電源がオン状態の時に、フロントパネル上のイジェクトボタンを押してください。

(2) トレイのへこみ部分にディスクのラベル面を上にして置きます。ディスクがトレイに水平になるよう気をつけてください。

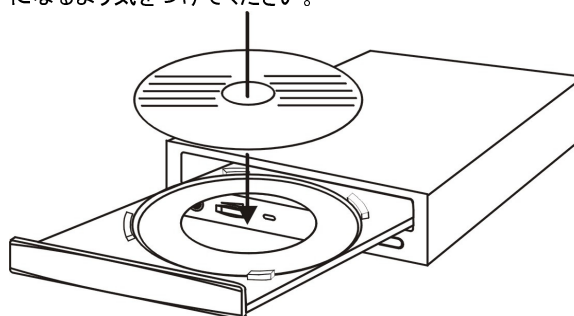



図:トレイをロードします

(3) イジェクト・ボタンをもう一度押すと、数秒以内にトレイはスライドして戻ります。

レコーディングと再生

CD / DVDのレコーディング

CDやDVDを記録するには、適切なソフトウェアがインストールされているか確認してください (前ページ参照)。

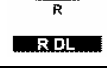
DVD / BDの再生

本ドライブで市販のDVDやBDムービーを再生するには、ご使用のPCにBD再生ソフトがインストールされている必要があります。PC にBD再生ソフトがない、またはBD再生ソフトを入れ替えたい場合、同梱のソフトウェアＣＤから適切なアプリケーションをインストールしてください(前ページ参照)。

地域コードが設定されたＤＶＤ/BDの再生

ＤＶＤ/BDによっては、北米やヨーロッパなどある地域で再生できるようコード設定されているものがあります。

BDドライブの出荷時には、地域コードが予め設定されていません。それに代わり、地域設定されたDVD/BDをBDドライブに初めて挿入すると、DVD/BD挿入という動作でドライブに地域コードが設定されます。

地域コードの異なるDVD/BDを後から挿入すると、地域コード変更の許可を促すプロントが表示されます。変更を許可しない場合、DVD/BDは再生されません。変更を許可すると、BDドライブの地域コード設定が変更されます。

注意: BDドライブの地域コードは、5 回のみ変更可能です。それ以降は、ドライブのコード設定を変更できません。 (5 回の変更制限に達すると、DVD/BD再生ソフトが警告を表示します。)

ソフトウェアとマニュアルについて

レコーディングや再生ソフトに関する詳細なユーザーズマニュアルは、ソフトウェア本体のインストール時に自動でコンピュータにインストールされます。

推奨の記録可能&再書き込み可能メディア

一貫した高品質を得るには、下記メーカーのCDおよびDVDメディアを推奨します。(推奨品は予告なく変更することがあります):

CD-Rメディア:		CMC, LEADDATA, MAXELL, MBI, MCC, LASMON, PRODISC, RITEK, Taiyo-Yuden
Low Speed CD-RWメディア:		CMC, MKM, RICOH, RITEK
High Speed CD-RWメディア:		CMC, LEAD DATA, MBI
Ultra Speed CD-RWメディア:		CMC, MKM, RITEK
DVD-Rメディア:		CMC, DAXON, LEADDATA, MAXELL, MKM, PRODISC, RITEK, SONY, TDK, Taiyo-Yuden
DVD-R9 メディア:		MKM, CMC, RITEK
DVD-RW メディア:		CMC, JVC, MKM, RITEK, TDK
DVD-RAMメディア		MAXELL, PANASONIC
DVD+Rメディア:		CMC, MAXELL, MBI, MKM, PRODISC, RICOH, RITEK, SONY, TDK, Taiyo-Yuden
DVD+R9 メディア:		MKM, Ritek, CMC
DVD+RW メディア:		CMC, MBI, MKM, PHILIPS, RICOH, RITEK
LightScribe メディア:		CD-R: MKM, MBI, CMC DVD+R: MKM, MBI, CMC

注: ***(1)ドライブの書き込み、再書き込み、読み込みの最大速度は外箱に記載されています。***

(2) 予告なく変更されることがあります。

LIGHTSCRIBE ユーザーズガイド

以下の LightScribe 章では、LightScribe ディスクラベル対応ドライブに関する情報です。ドライブ本来のパッケージをご覧になり、ご利用のドライブが LightScribe ディスクラベル機能に対応しているかどうかを確認してください。

図: LightScribe ロゴ

LightScribe の使い方

LightScribe で CD や DVD にラベルをつけるには、次のアイテムが必要です。

- LightScribe 対応ドライブ
- LightScribe ラベリングソフトウェア (ドライブに含まれています。その他の LightScribe 対応アプリケーションもあります)
- LightScribe メディア (コンピュータ専門店でお求めになれます)

LightScribe ディスクのラベリングは、データの書き込み前、または書き込み後に行うことができます。また、データを書き込んだかどうかにかかわらず、複数のディスクに連続してラベリングを行うことができます。

重要なことは、LightScribe ラベルを書き込むときは、常に LightScribe ディスクラベル側を下にして挿入することです。

LIGHTSCRIBE ラベルディスクの作成と書き込み方法

1 LightScribe ラベリングソフトウェアを開始します。
- ラベリングアプリケーションはディスク書き込みソフトウェアの一部である場合もあり、そして単独のアプリケーションである場合もあります。

2 デザインに合った適切な LightScribe 設定を選択してください。
- ほとんどの LightScribe 対応ラベリングアプリケーションでは、ラベルをデザインする前に "LightSctibe" オプションを選択する必要があります。

3 ラベルデザインを作成します。
- テキストやグラフィックのあるラベルを作成するよう選択することができます。また、ラベルを記載するディスクエリアを、単なる文字のみ ("タイトルのみ") からディスク全体を覆うもの ("フルラベル") まで選択することができます。
- テキスト、フォント、そのまま使える背景、オリジナルフォトやグラフィックなどを使ったラベルを試し、自分の好みに合わせたものを作成してください。(アイデア、アドバイスなどについては www. lightscribe.com/labeltips もご覧ください。)

4 デザインの準備ができたら、白紙の LightScribe ディスクを、ラベル側を下にしてドライブに挿入してください。
- デザインをプレビューしたり、印刷したりする前に、ラベリングアプリケーションは LightScribe ディスクがドライブに正しく挿入されたかどうかをチェックします。ディスクが入っていない場合、または LightScribe ラベル側を下にしてディスクが挿入されなかった場合、ソフトウェアはエラーメッセージを表示します。

5 LightScribe ラベルとしてデザインがどのように見えるかを確認するプレビューオプションを選択します。
- デザインをプレビューすることにより、デザインが正しく配置されているかどうかを確認し、グレイスケールのデザインがどのように見えるかを表示します。

6 印刷オプションを選択し、ラベルデザインをディスクに送信します。
- デザインをディスクに印刷する際、ドラフト、標準、きれいの 3 つの画質から選択することができます。"ドラフト" とは高速印刷モードで、低レベルコントラストの画像が印刷されます。"きれい" はデザインエリアで最高のコントラストを提供しますが、書き込みに多少時間がかかります。下表はそれぞれのモードのおおまかな印刷時間を表しています。

設定 **Setting**	**タイトルのみ**	**タイトルと目次**	**フルラベル (画像あり)**
きれい	<4 分	<9 分	<36 分
標準	<3 分	<7 分	<28 分
ドラフト	<2 分	<4 分	<20 分

7 ラベルが終了すると、ドライブは自動的にディスクを出します。

FQA (よくある質問)

Q:LightScribe はどのように作動しているのですか。
A:LightScribe ディスクのコーディングは CD/DVD ドライブレーザに当たると色が変化します。このプロセスはフィルムの露光に似ていますが、LightScribe の表面はレーザーの強烈な光にのみ反応します。

Q:LightScribe を LightScribe 未対応ディスクで使おうとすると、どうなりますか。
A:ソフトウェアが LightScribe 未対応ディスクへのラベルイメージ送信を防御します。LightScribe 対応ソフトウェアは LightScribe ディスクに組み込まれた特徴から LightScribe ディスクを認識するよう設計されていますので、てきせつなメディアが挿入された場合にのみ、イメージが作成され、これをドライブに送信します。

Q:LightScribe ラベル書き込み中にパソコンで他の作業を行うことができますか。
A:はい。ラベリングプロセスは背景で実行されますので、ラベリングを進行中にパソコンを他の作業に使うことができます。

Q:LightScribe ラベル書き込み中にパソコンの前を離れることができますか。
A:はい。LightScribe は書き込みプロセス中にユーザによる操作を必要としないため、席を離れることができます。また、LightScribe システムはラベル書き込み中に "スリープ" 状態や省電力モードに入ることはありません。

Q:CD-RW や DVD±RW ディスクへ再書き込みするように、LightScribe ラベルにも再書き込みができますか。
A:いいえ。現在の LightScribe 技術では、消去ができません。
イメージが書き込まれると、永久的となります。

Q:紙で作成したラベルのように、LightScribe イメージも CD や DVD の回転中のアンバランスをもたらしますか。
A:いいえ。LightScribe ディスクは高画質 CD や DVD と同じように均等にバランスを保つことができるため、ドライブで回転中も均等に回転することができます。このため、ディスクにイメージを書き込んでもディスクの正しい回転に影響をおよぼすことはありません。

Q:LightScribe イメージングプロセスで有害な化学物質が放出されることはありませんか。
A:いいえ。レーザーイメージングプロセスがディスクのコーティングに含まれる顔料素材に化学変化を起こしますが、有害な化学物質が生成または放出されることはありません。

Q:ラベル書き込みの直後に LightScribe ディスクが熱くなったり、危険な状態になることはありますか。
A:いいえ。"データ書き込み" や "イメージの書き込み" という言葉は熱を伴うように見受けられますが、プロセスには実際の熱を伴うことはなく、危険はありません。CD や DVD はドライブから出された直後に触れても安全です。

Q:LightScribe はカラーラベルを作成することができますか。

A:現在では、LightScribe 技術はグレイスケールでのみ御利用可能であり、白黒写真のような状態となります。LightScribe の発展戦略の中にはこれ以上の機能を伴うシステムの開発が含まれていますが、現時点ではビジネスや法的要求により、詳細情報の発行が禁じられています。

トラブルシューティング

BDドライブのインストール中または使用中にトラブルが発生した場合は、以下の情報をご参照ください。

読み込みの問題

症状	考えられる原因	解決法
動作しない	電源が入っていない	• 電源コードが(すべての接続箇所で)安全に接続されているか確認してください。
	SATAケーブルが適切に接続されていない	• SATAケーブルとコネクタが故障していないか(ピンを入念に点検してください)、両側が接続されているか確認してください。
BDドライブが認識されない	電源ケーブルが適切に接続されていない	• 電源コードが(すべての接続箇所で)安全に接続されているか確認してください。
	SATAケーブルが適切に接続されていない	• SATAケーブルとコネクタが故障していないか(ピンを入念に点検してください)、両側が接続されているか確認してください。
ディスク読み込み時のノイズが大きすぎる	ディスクのロードがアンバランス	• ディスクを別のディスクと交換してください。
	ステッカーかラベルが表面に付着している	• ディスクに傷がつかないよう注意しながら、ステッカー/ラベルを慎重に剥がしてください
トレイが開けられない (イジェクト)	ソフトウェアによりドライブがロックされている	• ソフトウェアの起動が完了するまでお待ちください; もしくは • ソフトウェアの起動を停止してからイジェクトを押してください。
	ディスクがトレイに正しくセットされていない	• ドライブの電源を切ってから、小さな棒やペーパークリップをエマージェンシィイジェクトホールに差し込みトレイを引き出してください。
最低 2 回書き込まれたCD-RWディスクの前セッションの読み込みができない	"Load Contents(コンテンツのロード)" または "Import Session(セッションのインポート"が、書き込み過程で選択されなかった	• 新しいデータをディスクに書き込む際、 “import previous sessions(前セッションのインポート)” が正しく選択されているか確認してください。
	ディスクに欠陥があるか壊れている	• 常に高品質メディアをご使用ください • 常にディスクは慎重に取り扱い、清潔に保ってください。ディスク表面に深い傷や指紋、他の汚れがつくと、ディスクが読み込めなくなることがあります。

症状	考えられる原因	解決法
	ディスクが逆さまに挿入されている	• トレイからディスクを取り出し、ラベル側を上に向け再度挿入してください。

書き込みの問題

症状	考えられる原因	解決法
ディスクに書き込みができない	使用されているオーサリングソフトがBDドライブに対応していない	• BDドライブに同梱のオーサリングソフトをご使用ください。 • 他のソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェアの供給元に連絡(または適切なウェブサイトをチェック)し、BDドライブに対応するか確認してください。
	ディスクが逆さまに挿入されている	• ラベル側を上に向け再度挿入してください。
	ハードディスク容量が不十分	• ハードディスクに書き込みデータの1.2~2 倍の容量があるか確認してください(必要な容量は書き込み方法により異なる場合があります)
	電源が入っていない	• 電源コードが(すべての接続箇所で)安全に接続されているか確認してください。
	SATAケーブルが適切に接続されていない	• SATAケーブルとコネクタが故障していないか(ピンを入念に点検してください)、両側が接続されているか確認してください。
書き込みエラーが起る	ディスクに欠陥があるか壊れている	常に高品質メディアをご使用ください • 常にディスクは慎重に取り扱い、清潔に保ってください。ディスク表面に深い傷や指紋、他の汚れがつくと、ディスクが読み込めなくなることがあります。
	ハードディスク容量が不十分	• ハードディスクに書き込みデータの1.2~2 倍の容量があるか確認してください(必要な容量は書き込み方法により異なる場合があります)
ドライブが認識されない	SATAケーブルが適切に接続されていない	• SATAケーブルとコネクタが故障していないか(ピンを入念に点検してください)、両側が接続されているか確認してください。
	使用されているオーサリングソフトがBDドライブに対応していない	• BDドライブに同梱のオーサリングソフトをご使用ください。 • 他のソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェアの供給元に連絡(または適切なウェブサイトをチェック)し、BDドライブに対応するか確認してください。
最高速で書き込みができない	DVD/CDメディアが高速に対応していない	• ドライブの書き込み可能な最高速に対応したメディアをご使用ください

症状	考えられる原因	解決法
	ディスクに欠陥があるか壊れている	常に高品質メディアをご使用ください • 常にディスクは慎重に取り扱い、清潔に保ってください。ディスク表面に深い傷や指紋、他の汚れがつくと、ディスクが読み込めなくなることがあります。
	使用されているオーサリングソフトがBDドライブに対応していない	• BDドライブに同梱のオーサリングソフトをご使用ください。 • 他のソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェアの供給元に連絡(または適切なウェブサイトをチェック)し、BDドライブに対応するか確認してください。